

事後評価結果（令和4年度）

担当課：宮崎県 道路建設課
担当課長名：加行 孝

事業名	地域高規格道路 都城志布志道路 一般県道 飯野松山都城線 梅北工区	事業区分	地方道	事業主体	宮崎県				
起終点	自：宮崎県都城市梅北町 至：宮崎県都城市梅北町	延長	2.5 km						
事業概要									
<p>都城志布志道路は、都城市を起点に曾於市を経由し、志布志市に至る延長約4.4kmの地域高規格道路であり、一般県道飯野松山都城線梅北工区は、都城志布志道路の一部を構成する2.5kmを整備したものである。</p>									
事業の目的・必要性									
<p>九州縦貫自動車道宮崎線都城ICと志布志港及び東九州自動車道を結ぶ広域交通ネットワークの形成を図り、経済・防災・医療対策機能の強化を目的とし、南九州圏域の経済発展に寄与する。</p>									
事業概要図									
地域高規格道路 都城志布志道路 L=4.4 km 									
事業の効果等	事業期間	事業化年度	H23年度	用地着手	H23年度	供用年	(再評価) -/H29	変動	一倍
		都市計画決定	なし	工事着手	H23年度	(暫定/完成)	(実績) -/H29		
	事業費	再評価時	(名目値) -/62億円	実績		(名目値) -/83億円	変動	一倍	
		(暫定/完成)	(実質値) -/一億円	(暫定/完成)		(実質値) -/一億円			
	交通量	再評価時	-/9,400台/日		実績		-/12,700台/日		変動
	(暫定/完成)			(暫定/完成)					
旅行速度向上		40.2 → 70.7 km/h		交通事故減少		11件/年 → 5件/年			
		(供用前現道→当該路線)		(供用前現道→当該路線)		(供用前現道→当該路線)		(供用後年次) R1-R3年度	
費用対効果分析結果	B/C	1.8		総費用 63億円		総便益 112億円		基準年 平成27年	
	(再評価)			事業費：62億円 維持管理費：0.9億円		走行時間短縮便益：94億円 走行経費減少便益：11億円 交通事故減少便益：7.4億円			
費用対効果分析結果	B/C	2.5		総費用 84億円		総便益 207億円		基準年 令和4年	
	(事後)			事業費：83億円 維持管理費：1.0億円		走行時間短縮便益：185億円 走行経費減少便益：14億円 交通事故減少便益：8.4億円			
事業遅延によるコスト増		費用増加額		- 億円		便益減少額		- 億円	
事業遅延の理由		-							

	交通量変動の理由
	乙房IC（宮崎県都城市）から志布志IC（鹿児島県志布志市）までが供用されたため。
	客観的評価指標に対応する事後評価項目
	<p>① アンケート調査の結果、道路整備が「必要であった」、「どちらかと言えば必要であった」との意見が8割以上であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間短縮 ・混雑地区の回避 ・安全性の向上（現道含む） <p>② アンケート調査の結果、通行の利便性が「良くなった」、「やや良くなった」との意見が9割以上であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間短縮 ・現道の大型車が減少。
	その他評価すべきと判断した項目
	・特になし
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目
	・特になし
	その他評価すべきと判断した項目
	・特になし
	事業を巡る社会経済情勢等の変化
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月に金御岳工区が開通したことにより東九州道（志布志IC）まで供用。 ・平成27年4月に都城市郡医師会病院が都城ICから至近の位置に移転・開院。
	今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性
	・投資効果が確認されており、改善措置の必要性がないと判断される。
	計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性
	・特になし
	特記事項
	・特になし

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。